



初期研修医の 業務紹介



みやうち としや

秋田厚生医療センター 臨床研修医師 宮内 隼弥 先生

秋田厚生医療センターで初期研修医として勤務しております宮内隼弥と申します。秋田厚生医療センターには現在20名以上の初期研修医が在籍し、秋田県内最大の臨床研修病院となっております。今回は初期研修医の立場や業務についてお話しいたします。

最初に、初期研修医の立場についてですが、初期研修医とは文字通り初期研修に従事する医師のことです。では、初期研修とは一体何なのかということになります。大学で6年間の医学教育を修了し、医師国家試験に合格した後、最初の2年間に受ける研修のことです。初期研修医の最大の目標は一般的な病気や怪我に適切に対応できるようなこととされています。初期研修医は全国にある臨床研修病院のうち、勤務を希望する病院に応募し、採用された病院で初期研修に従事します。この過程は一般的な就職活動とほとんど同じです。

臨床研修病院ごとに初期研修には特徴があり、当院の初期研修では、総合的に患者さんを診る能力を重視しています。具体的には、がんや診断された患者さんが糖尿病を患っていた

場合、がんの治療だけでなく、血糖値の管理もできることを目標にしています。当院では、このような総合的に患者さんを診る能力を身につけるために、内科や外科から精神科や産婦人科に至るまで、様々な科で偏りなく研修することが義務付けられています。今後の日本では加齢に伴う病気の増加に伴って、複数の病気をお持ちの患者さんは増加していきます。当院の初期研修はこのような社会で必要とされる医師を養成しています。

次に、初期研修医の業務についてですが、研修中の科でベテランの医師の指導の下で患者さんの診断や治療に関わります。

外来診療では問診や身体所見を基に、必要な検査や処置を行います。薬の処方だけで帰宅して頂くことが多いですが、患者さんの病気や状態によっては入院が必要なこともあります。この判断が初期研修医にとっては非常に難しく、入院が不要な患者さんを入院させたり、入院が必要な患者さんを帰宅させたり、といったことがないように、ベテランの医師と相談しながら外来診療に従事しています。

入院中の患者さんに対しては、毎日の回診で状態を確認し、検査結果を評価しながら、治療方針を決定します。患者さんの病気の状態だけでなく、患者さんの希望や社会的な背景も考慮するようにベテランの医師に指導されます。単に病気を治療するだけが医師の仕事ではないのだと痛感しています。

最後になりますが、初期研修医は、ベテランの医師だけでなく、看護師や各種技師などの様々な職員とともに、患者さんの健康のために働いています。ご自身の健康や病気に関して気になることがあれば、是非、初期研修医に声を掛けて下さい。どの初期研修医も日々勉強に励んでおり、わかりやすい説明を心がけています。どうぞよろしくお願いたします。

